

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年8月10日(2017.8.10)

【公開番号】特開2015-127395(P2015-127395A)

【公開日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-044

【出願番号】特願2014-236521(P2014-236521)

【国際特許分類】

C 08 G 18/66 (2006.01)

C 08 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/66 G

C 08 G 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリエーテルポリオール(組成物)(A)と炭素数4~9のアルカノールアミン(F)を含有するポリオール成分(P)と有機ポリイソシアネート(B)とを、発泡剤(C)、触媒(D)及び整泡剤(E)の存在下に反応させる軟質ポリウレタンスラブフォームの製造方法であって、(A)が、活性水素1個あたりのエチレンオキサイドの平均付加モル数xが0~20、末端水酸基の1級水酸基比率y(%)が40~95であり、xとyが下記式(1)の関係を満たす1種以上のポリエーテルポリオール(A1)を含有し、(A)の末端水酸基の1級水酸基比率が40~95%であり、(A)中のエチレンオキサイド単位の含有量が(A)の重量を基準として12重量%以下であり、(A)の数平均官能基数が2.7~5.0であり、(A)の水酸基価が22.5~40(mg KOH/g)であり、(A)と(F)の合計重量に基づく(F)の含有量が1.5~5重量%であって、得られるフォームの硬度(25%ILD)が20~80N/314cm<sup>2</sup>であり、コア密度(kg/m<sup>3</sup>)が30を超えて60以下の軟質ポリウレタンスラブフォームの製造方法。

$$y = 42.0 \times^{0.47} (1 - x / 41) \quad (1)$$

【請求項2】

ポリエーテルポリオール(A1)が、活性水素含有化合物(h)に炭素数3以上の1,2-アルキレンオキサイドが付加されてなるポリオール(A11)、活性水素含有化合物(h)に炭素数3以上の1,2-アルキレンオキサイドが付加されたものにエチレンオキサイドがブロック付加されてなるポリオール(A12)、活性水素含有化合物(h)に炭素数3以上の1,2-アルキレンオキサイド及びエチレンオキサイドがランダム付加されたものにエチレンオキサイドがブロック付加されてなるポリオール(A13)、活性水素含有化合物(h)に炭素数3以上の1,2-アルキレンオキサイドが付加されたものに炭素数3以上の1,2-アルキレンオキサイド及びエチレンオキサイドがランダム付加されてなるポリオール(A14)、活性水素含有化合物(h)に炭素数3以上の1,2-アルキレンオキサイド及びエチレンオキサイドがランダム付加されてなるポリオール(A15)及び活性水素含有化合物(h)にエチレンオキサイドが付加されたものに炭素数3以上

の 1 , 2 - アルキレンオキサイドが付加されてなるポリオール ( A 1 6 ) からなる群から選ばれる 1 種以上のポリエーテルポリオールである請求項 1 に記載の軟質ポリウレタンスラブフォームの製造方法。

【請求項 3】

ポリエーテルポリオール ( A 1 ) の含有量がポリエーテルポリオール ( 組成物 ) ( A ) の重量に基づいて 1 0 ~ 1 0 0 重量 % である請求項 1 または 2 に記載の軟質ポリウレタンスラブフォームの製造方法。

【請求項 4】

ポリエーテルポリオール ( 組成物 ) ( A ) 中に、さらに下記ポリエーテルポリオール ( A 2 ) を含有する請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の軟質ポリウレタンスラブフォームの製造方法。

ポリエーテルポリオール ( A 2 ) : 活性水素含有化合物 ( h ) にプロピレンオキサイド及びエチレンオキサイドが付加されてなり、数平均官能基数が 2 ~ 4 であり、水酸基価が 1 5 ~ 1 5 0 ( m g K O H / g ) であり、オキシエチレン単位の合計含有量が 5 0 ~ 9 0 重量 % であるポリエーテルポリオール。

【請求項 5】

軟質ポリウレタンスラブフォームの反発弾性が 5 0 % 以上である請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の軟質ポリウレタンスラブフォームの製造方法。